

第1回 志免町地域公共交通会議概要

日時 : 令和4年9月30日(金)14:00~15:30

場所 : 志免町役場4階 第1・2委員会室

出席者(敬称略):【委員】赤瀬 優、生野 潤二、久世 和彦、雑賀 光美、立花 孝信、戸田 順一郎、富原 毅、西山 宜彦、丸山 孝雄、鞭馬 隆行、山田 忠政

【事務局】世利町長、篠原経営企画課長、米澤経営企画課長補佐、安恒政策推進係長、清原政策推進係員、吉村政策推進係員

1. 開会のことば

事務局より欠席者の報告、配布資料の確認 《欠席者》齊藤委員、砥上委員、田辺委員

2. 委嘱状交付

代表委員のみ町長から直接交付。その他の委員については机上にて配布。

3. 町長あいさつ

4. 自己紹介

5. 会長・副会長の選任

事務局案の、丸山委員を会長に、立花委員を副会長で承認。

6. 議 題

(1)地域公共交通会議の役割について

○事務局

資料1 説明

(2)志免町の公共交通の現状について

○事務局

資料2・資料3・資料4 説明

○会長

説明について何か意見はあるか。志免町は福祉バスでもバス停は多い、という印象を持たれたのではと思うが、実際は、時間帯・行き先、そのあたりが利用者の希望にどうしても合わない

いう状況があり、空車・空席が多いのが現状である。その現状を理解していただければと思う。高齢者の免許返納も、利用支援しないと、移動に厳しい地域もある。そういった地域の方も、免許証の返納をされておるのが現状である。個々の現状を回避して、公共交通の利便性向上を図れないかと事務局のほうは思っているようなので、検討をお願いしたい。

(3)課題と今後の方向性について

○事務局

資料5 説明

○会長

事務局から、デマンド交通に向けて検討していきたいという表明である。何か意見はあるか。

○委員

方向性として、デマンド交通を導入していくのは、よいと思う。福岡の各地でも、オンデマンドバスを導入して、定時定路線の路線バスより利便性が高くなったという声は聞いている。今後の志免町のまちづくりの在り方も含めて、協力できるところは協力してやっていきたい。

○委員

町の単位の公共交通は、まず幹線のバス・鉄道があって、そのあとコミュニティバス、最後にドアtoドアのタクシーとなる。ニーズに合わせて、手が届かないところについてはタクシーで協力が出来ればと思う。

○委員

南小学校区については博多・天神方面に行くバスはすごく多い。博多方面に行くには不便していないが、例えば桜丘から町役場へ西鉄バスで行くには大変である。3回ほど乗り換える必要がある。南小学校区の町内会長の中で、どうにかして町役場に行きやすいような交通システムができないか、という意見が多い。

○委員

定時定路線の形態を劇的にデマンド型の運行に変えるということは、交通の考え方が180度変わってしまう。現状、議論が熟しきっていないと感じる。段取りを踏んで、理解が浸透したのちに進んでいくべきではないか。行政から対象者にタクシーチケットを定期的に配布することを選んだ自治体もある。様々な選択肢を検討したうえで、議論を進めるべきでは。

○委員

次回以降の流れになると思うが、今回オンデマンド交通の話を挙げたということで、今後ど

のような段取りで進めていくか、住民の方にどのように知ってもらうか、事務局の意見を聞きたい。

○事務局

タクシーの利用券について、以前検討したことはあるが、今後高齢者の増加が想定され、費用が膨大になることや、限定された利用者のみになることを考慮し、志免町にはそぐわないなどという判断をした。その中で現状の空席の多い福祉巡回バスに替えて、オンデマンドバスを導入したいという形でこの会議を形成した

○委員

桜丘に住んでいるが、周りの住民の方たちは、日々の買い物にはそばの博多区月隈に足を延ばしていると聞く。今後のバス路線は志免町と博多区の境界を通ってもらえれば助かると思う。

○会長

今後順序立てて進める必要があるだろう。今回の意見を整理し、様々を検討して第2回の会議に臨みたい。

7. その他

○事務連絡(次回の開催について)

第2回は12月以降の予定と案内。

8. 閉会のことば